

公益財団法人 日本サッカー協会
2026 年度 第 7 回理事会

2026 年 5 月 14 日

決議事項

<p>1. 各種委員会 委員選任の件</p> <p>(決議) 資料 1</p> <p>各種委員会の委員を資料の通り選任したい。</p> <p>■参考 「各種委員会組織運営規則」第 4 条第 2 項に基づき、理事会決議。</p>
<p>2. なでしこジャパン（日本女子代表）監督 選任の件</p> <p>(決議) 資料 2</p> <p>FIFA 女子ワールドカップブラジル 2027 優勝を目指すなでしこジャパン監督を、以下の通り選任したい。</p> <p>氏名：狩野 倫久（かのう みちひさ）</p> <p>■参考 「事案決裁規則」別表 No. 79 に基づき、理事会決議。</p>
<p>3. フットサル日本女子代表監督 選任の件</p> <p>(決議) 資料 3</p> <p>FIFA フットサル女子ワールドカップ 2029 を目指すフットサル日本女子代表の監督を、以下の通り選任したい。</p> <p>氏名：上久保 仁貴（かみくぼ よしたか）</p> <p>■参考 「事案決裁規則」別表 No. 79 に基づき、理事会決議。</p>
<p>4. 北マリアナ諸島サッカー協会への支援の件</p> <p>台風 4 号「シンラコウ」で深刻な被害を受けた北マリアナ諸島について、被災地域の一刻も早い復旧を願い、「海外における自然災害等に対する支援事業の実施に関するガイドライン」に基づき、以下の通り支援したい。</p> <p>■支援内容 北マリアナ諸島サッカー協会（NMIFA）に支援金として 20,000 米ドルを寄付。 ※財源は災害復興継続支援引当特定資産を活用する。</p> <p>■被害状況 北マリアナ諸島のサイパンでは、台風 4 号「シンラコウ」によって建物の倒壊や浸水といった甚大な被害を受けた。NMIFA も NMI サッカートレーニングセンターのクラブハウス、観客席、ゴール、電光掲示板、フェンスなどが被害を受けた。被害の初期評価では復旧には約 65 万～</p>

80万ドルが必要と見込まれている。

■参考1：過去10年の災害時支援実施内容（国外）

時期	災害	支援先	各支援先への支援内容
2016年4月	エクアドル地震	エクアドルサッカー連盟	義援金 20,000 米ドル
2016年8月	イタリア中部地震	イタリアサッカー連盟	
2017年9月	メキシコ中部地震	メキシコサッカー連盟	
2017年12月	イラン・イラク地震 ※被害のほとんどがイラン国内で発生	イランサッカー連盟	
2018年9月	インドネシア大地震	インドネシアサッカー協会	
2018年11月	北マリアナ諸島 台風26号被害	北マリアナ諸島サッカー協会	
2020年10月	ベイルート爆発	レバノンサッカー協会	
2021年9月	ハイチ大地震	ハイチサッカー協会	
2023年2月	トルコ南部・シリア地震	トルコサッカー協会	
		シリアサッカー協会	
2024年4月	台湾東部地震	チャイニーズ・タイペイサッカー協会	
2025年5月	ミャンマー中部地震	ミャンマーサッカー連盟	

■参考2：

「海外における自然災害等に対する支援事業の実施に関するガイドライン」に基づき、理事会決議。

2. 支援対象

海外で発生した地震や津波、台風（ハリケーン）、洪水、山火事等の災害の中で、その国民に甚大な被害をもたらし、特に支援が必要と判断される災害を対象とする。

3. 支援内容

具体的な支援の方法として、災害の規模等に鑑み、以下の内容の支援事業を行うものとする。

(1) 海外サッカー協会への義援金

- ① JFA としての義援金の拠出
- ② 義援金口座の開設による義援金募金の実施
- ③ その他の方法による義援金の拠出

(2) 個別支援

- ① 生活支援物資等の提供
- ② サッカー用品の提供
- ③ その他、必要な支援

4. 支援内容の決定方法等

- (1) 支援内容の決定は、原則として、理事会の決議事項とする。